

寝屋川市内4駅周辺 人流動態レポート 【本 編】

令和4年4月



目次

I レポートの概要	1
1 レポートの目的.....	1
2 レポートの概要.....	1
II レポート総括	2
1 寝屋川市駅.....	2
2 香里園駅.....	6
3 萱島駅.....	10
4 寝屋川公園駅.....	14
5 全駅まとめ.....	18

I レポートの概要

I レポートの目的

新型コロナウイルス感染症の急速な拡大を踏まえ発令された緊急事態宣言による、寝屋川市内4駅（寝屋川市駅、香里園駅、萱島駅、寝屋川公園駅）周辺での人流の抑制効果を検証する。

また、寝屋川市内4駅周辺における人流、滞在状況等を把握することにより、駅周辺での効果的な周知・啓発活動、情報発信等の施策・事業への展開につなげる。

2 レポートの概要

(1)分析地点

- 寝屋川市内4駅における半径 100m以内(寝屋川市駅、香里園駅、萱島駅、寝屋川公園駅)
- 分析ツールにおいては、株式会社 KDDI が提供する KDDI Location Analyzer を使用した。
 - ※ auスマートフォンから得られるGPSの位置情報／属性情報を基に、公的人口の推計を参照して拡大処理された人口データを活用

(2)分析期間

令和元年(2019年)11月1日から令和4年(2022年)2月6日まで(829日間)

主に緊急事態宣言中及び宣言解除後の人流の変化等を踏まえた内容について、別途データを分析しレポート化した。

※大阪府における緊急事態宣言期間

- ①令和2年(2020年)4月7日～5月21日(1回目)
- ②令和3年(2021年)1月14日～2月28日(2回目)
- ③令和3年(2021年)4月25日～6月20日(3回目)
- ④令和3年(2021年)8月2日～9月30日(4回目)

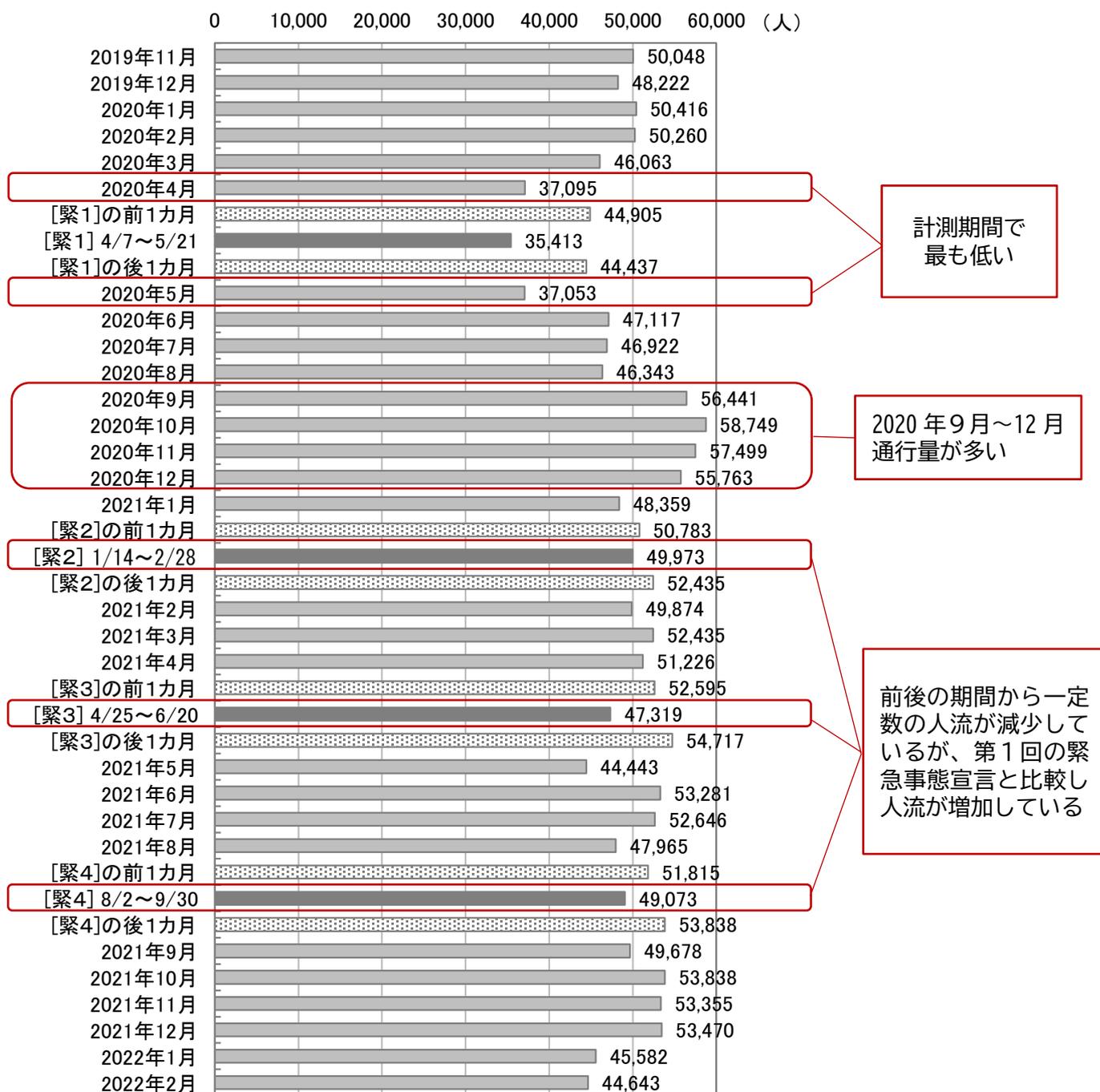
※ データ取得期間については、当該ツールにおける遡り期間の最大が2年3カ月であることから、令和元年(2019年)11月からのデータを取得

(3)その他

滞在者・・・指定地点を通行された方のうち、15分以上滞在されている方

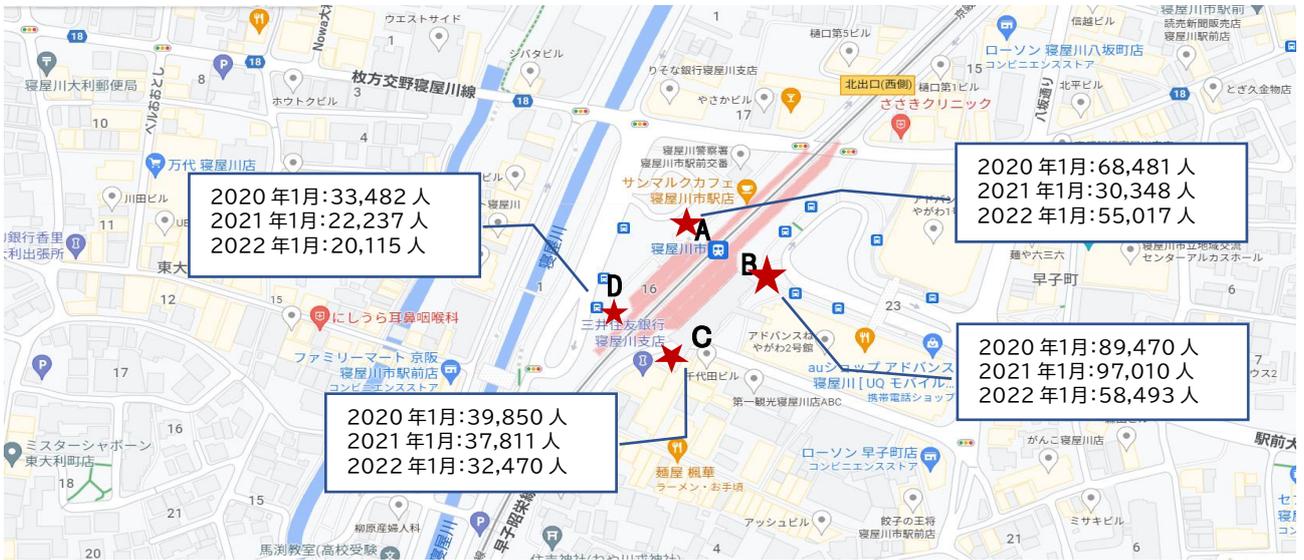
通行者・・・指定地点を通行された滞在者以外の方(15分以上の滞在者以外)

1カ月ごとにみる通行者数の推移



- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大前 2020.1
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大期 2021.1
- ・ 直近の時期 2022.1

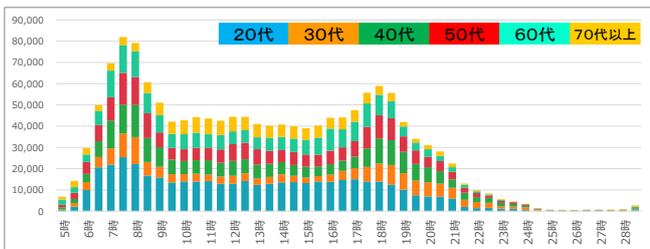
【情報発信 想定地点における各年1月の通行者数の変化】



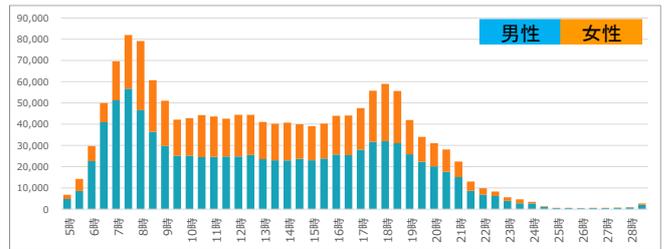
【情報発信 想定地点における年間通行者数 2021年1月1日~12月31日】

・A地点 (1年間の通行者数:835,237人)

年代別×時間帯別

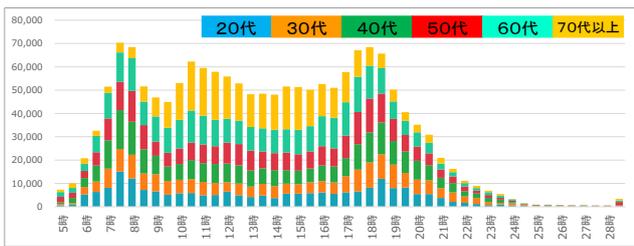


年代別×性別

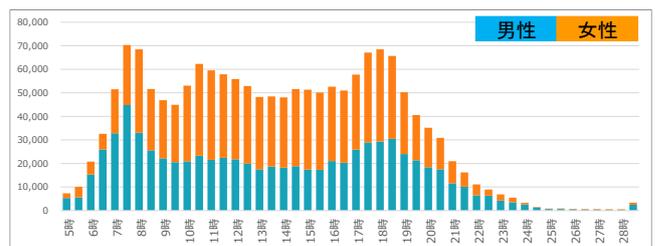


・B地点 (1年間の通行者数:1,033,905人)

年代別×時間帯別



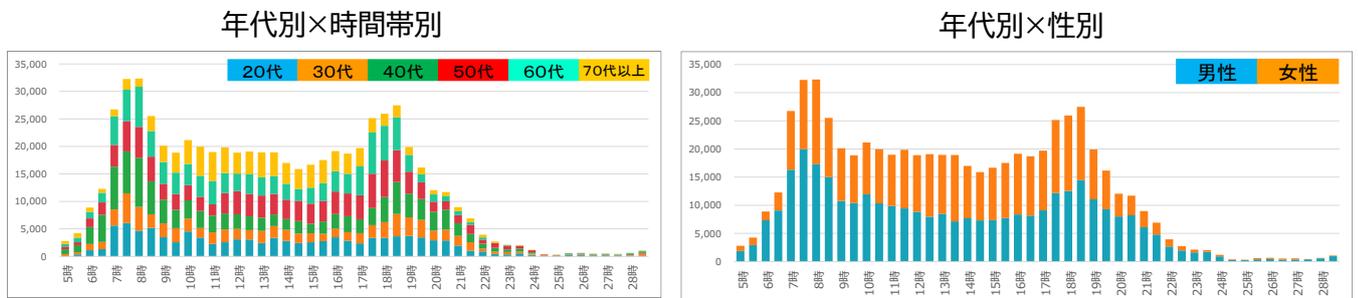
年代別×性別



・C地点（1年間の通行者数:401,646人）



・D地点（1年間の通行者数:403,083人）



〈各地点の傾向〉

- ・ 駅周辺4地点における各年1月の通行者数の状況について、3地点(ACD)では、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、2021年1月は減少となっており、直近の時期(2022年1月)の通行者数については、全ての地点で感染症拡大前の2020年1月のレベルにまでは戻っていない。
- ・ 直近の時期(2022年1月)では、B地点(駅エスカレーター、店舗前、ロータリー前付近)が最も多く、次いで、A地点(駅出入口前、ロータリー前付近)、C地点(ねやがわ一番街商店街と駅をつなぐ駅前道路付近)が多い。
- ・ 年間通行者数について、いずれの地点においても、通勤、通学者の利用が多いと考えられる7時から8時、17時から19時の時間帯が多くなっている。

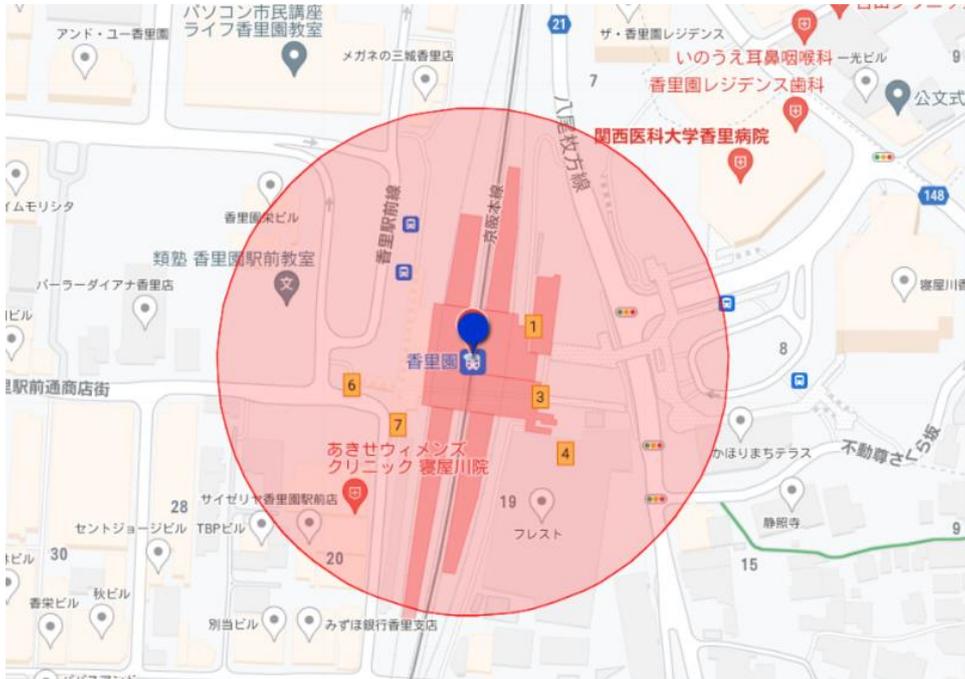
また、B地点、C地点では、日中も滞在者数が比較的多い場所となっている。

※ C地点では、他の地点と比較してピーク時が遅くなっている。

- ▶ より多くの方に情報発信、周知・啓発 A地点、B地点
- ▶ 7時から8時、17時から19時の時間帯での情報発信、周知・啓発 A地点、D地点
- ▶ 日中(9時から18時ごろ)での情報発信、周知・啓発 B地点、C地点



2 香里園駅



〈通行者の推移の傾向〉1か月

- 毎年、10～12月にかけて通行者がやや多くなっている。
- 4回あった緊急事態宣言における変化として、月単位では第1回緊急事態宣言期間中に当たる4月は32,579人、5月は34,062人となっており、計測期間の中で最も低くなっている。

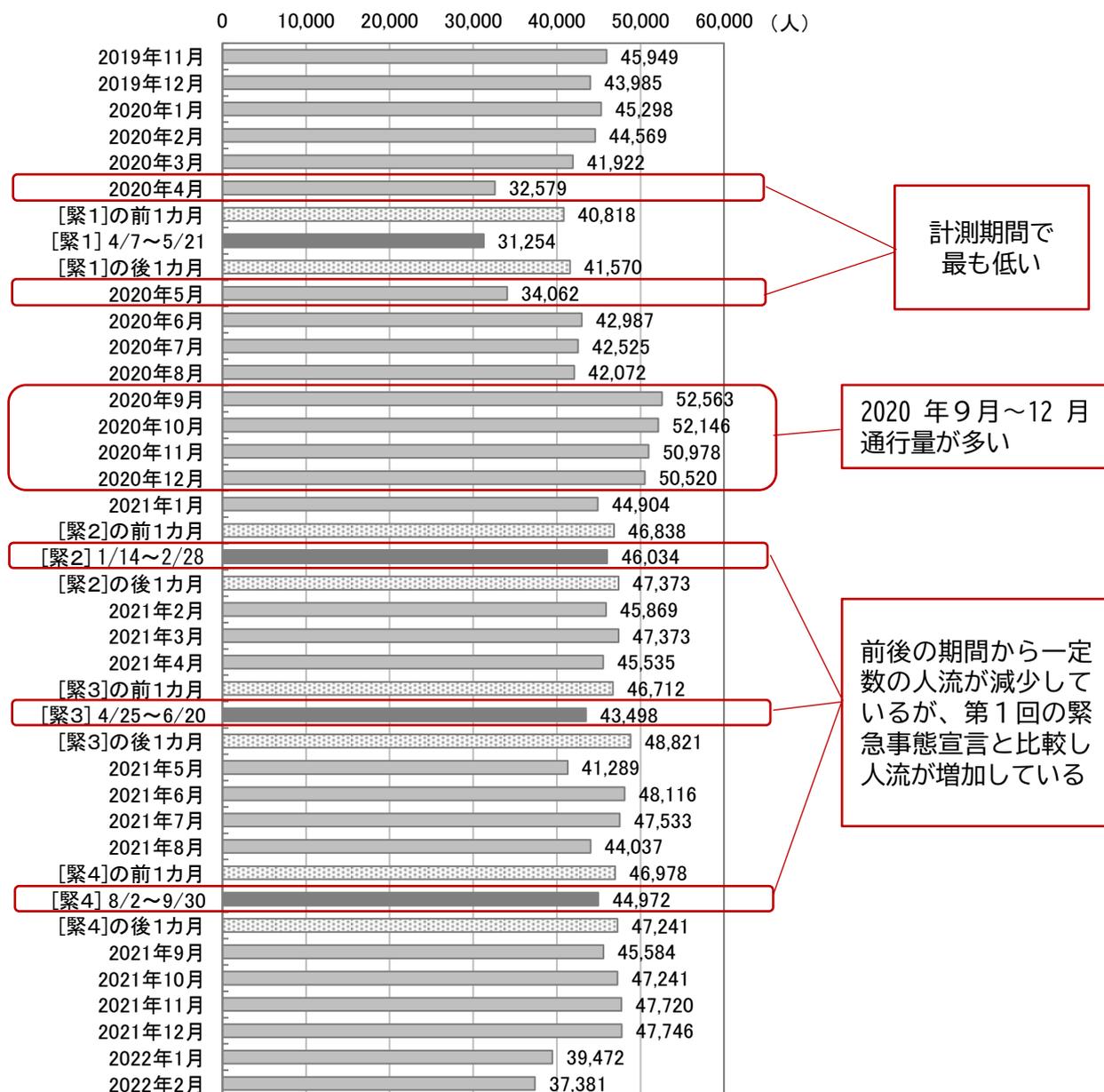
〈通行者の推移の傾向〉1週間

- 緊急事態宣言の回数を追うごとに減少率は低くなっており、香里園駅においては、第2～4回目の緊急事態宣言下においては、通常と大きく変わらない人の流れとなっている。
- 香里園駅においては、新型コロナウイルス感染症拡大初年度2020年が最も通行者が多い年となっており、2021年は2019年規模となっている。

〈通行者・滞在者の傾向(資料より)〉

- 通行者は、金曜日が多く、60代の来街者の割合が高い。
- 時間帯でも、40～60代の来街者の割合が高い。
- 時間は7～8時、17～18時が多く、通勤者が多いことが予測される。
- 15分以上滞在していることが少ない駅である。
- 滞在者は居住者の割合が高く、女性が多い。

1カ月ごとにみる通行者数の推移



- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大前 2020.1
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大期 2021.1
- ・ 直近の時期 2022.1

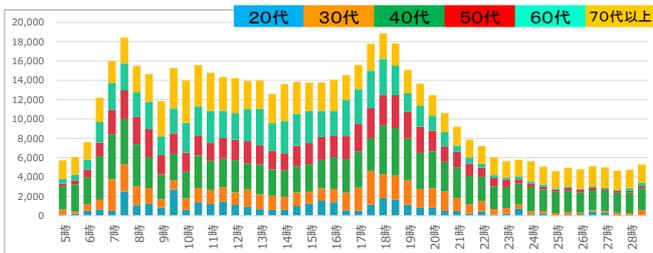
【情報発信 想定地点における各年1月の通行者数の変化】



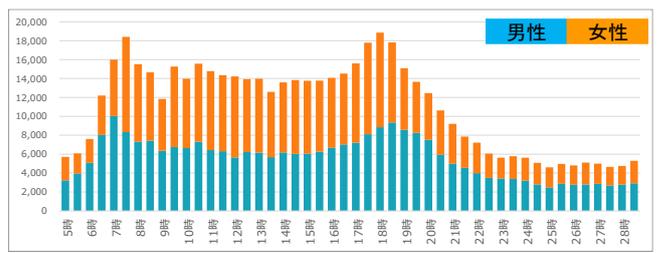
【情報発信 想定地点における年間通行者数 2021年1月1日～12月31日】

・A地点 (1年間の通行者数:258,358人)

年代別×時間帯別

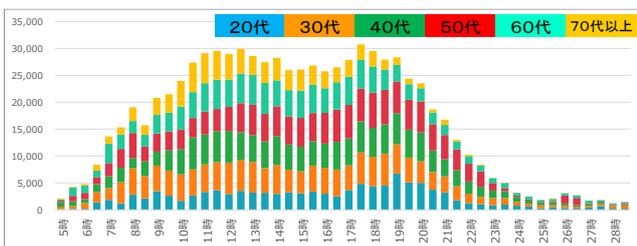


年代別×性別

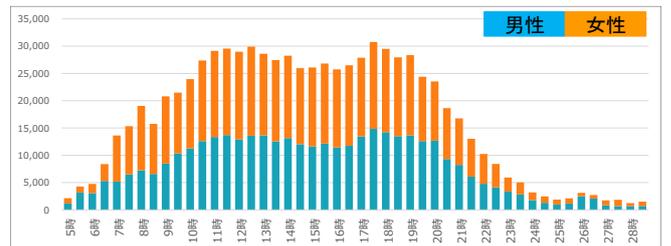


・B地点 (1年間の通行者数:427,501人)

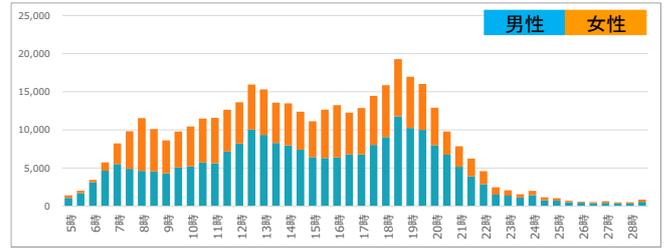
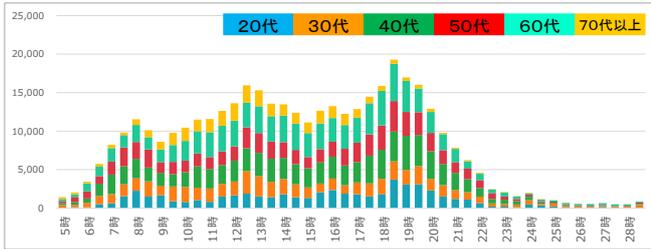
年代別×時間帯別



年代別×性別

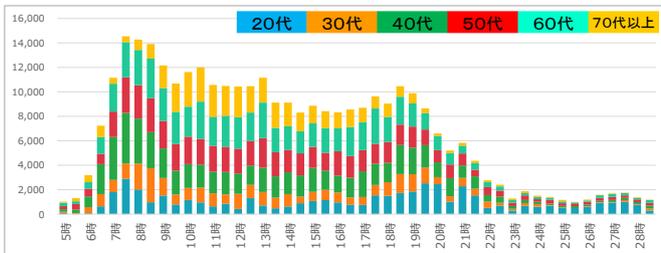


・C 地点（1年間の通行者数:217,020 人）

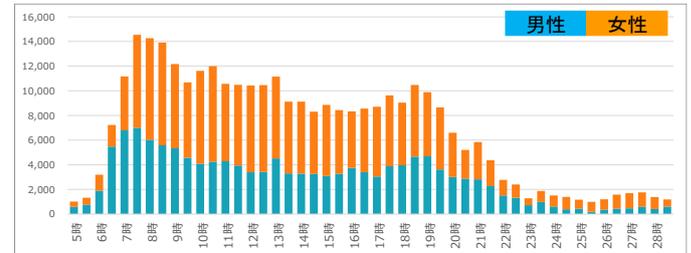


・D 地点（1年間の通行者数:197,041 人）

年代別×時間帯別



年代別×性別



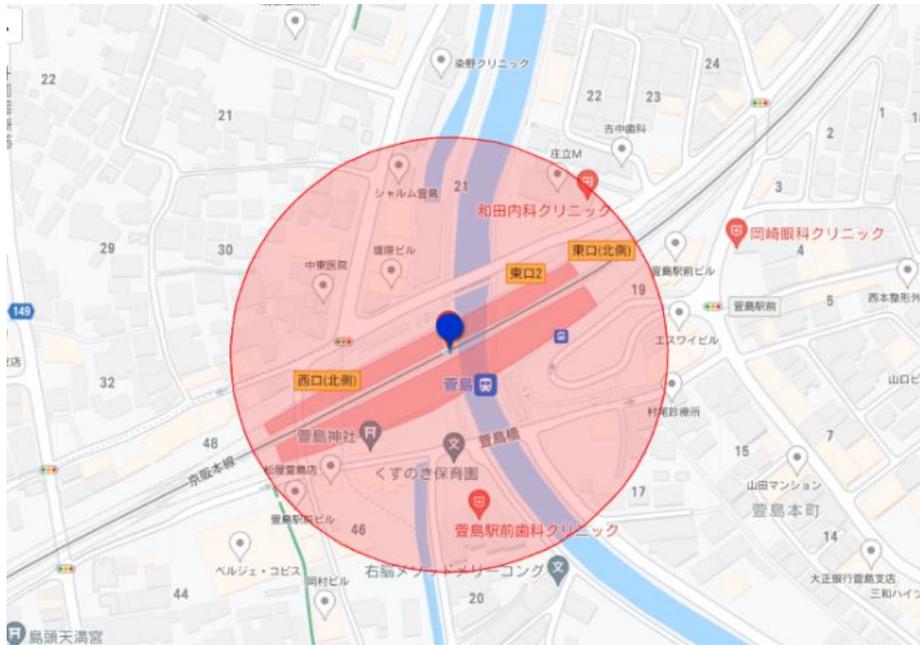
〈各地点の傾向〉

- ・ 駅周辺4地点における各年1月の通行者数の状況について、3 地点(ACD)では、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、2021 年 1 月は減少となっており、この3地点の直近の時期(2022 年 1 月)の通行者数については、感染症拡大前の 2020 年 1 月のレベルにまでは戻っていない。
- ・ 直近の時期(2022年1月)では、B地点(駅出入口階段前、ロータリー前付近)が最も多く、次いで、A地点(駅出入口エスカレーター・階段前、ロータリー前付近)が多いなど、駅を中心に西側が多い。
- ・ 年間通行者数について、ABD 地点は7時から8時、17時から 19 時の時間帯が多くなる。一方、C地点は夕方(18時から19時)にかけて多くなる傾向となっている。
- ・ 他の駅周辺と比較して、香里園駅周辺は、日中も通行者数が多く、特に、A 地点、B 地点では、日中も安定して多い。

- ▶ より多くの方に情報発信、周知・啓発 A地点、B地点
- ▶ 7時から8時、17時から 19 時の時間帯での情報発信、周知・啓発 A地点、B地点、D地点
- ▶ 日中(9時から18時ごろ)での情報発信、周知・啓発 B地点、C地点、D地点



3 萱島駅



〈通行者の推移の傾向〉1か月

- 萱島駅においては、毎年、10～12月にかけて歩行者がやや多くなっている。
- 4回あった緊急事態宣言における変化として、月単位では第1回緊急事態宣言期間中に当たる4月は22,730人、5月は22,033人となっており、計測期間の中で最も低くなっている。

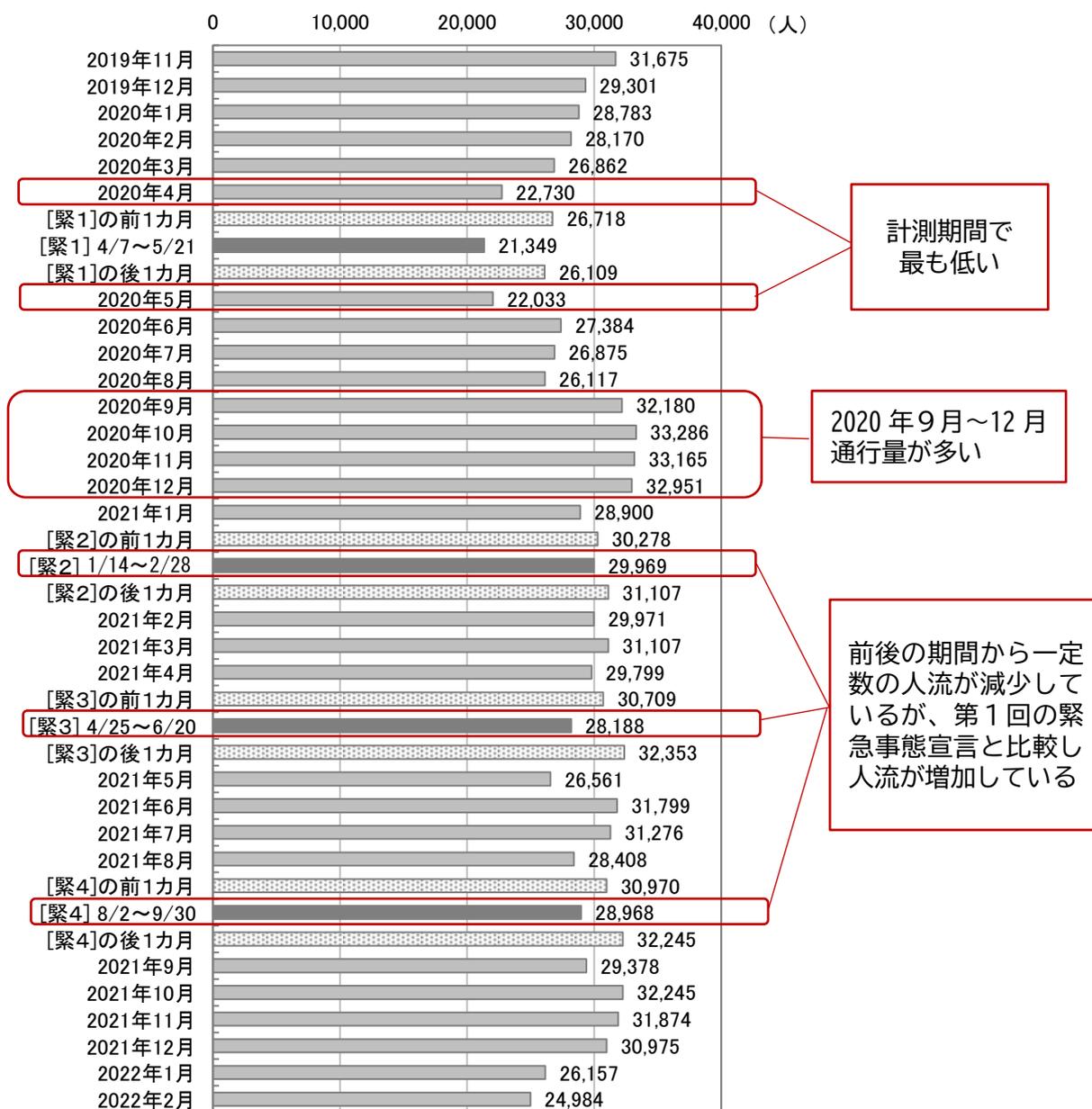
〈通行者の推移の傾向〉1週間

- 緊急事態宣言の回数を追うごとに減少率は低くなっている。
- 萱島駅においては、新型コロナウイルス感染症拡大初年度と比較すると、2021年以降は、ばらつきはあるものの2019年規模にまで人の流れは回復しつつある。

〈通行者・滞在者の傾向(資料より)〉

- 通行者は、金曜日が多く、40代の来街者の割合が高い。
- 時間は7～8時、17～18時が多く、通勤者が多いことが予測される。
- 通行者と滞在者の人数に大きな差はなく、平均的に人の流れがある。
- 滞在者は女性の割合が高くなっている曜日がある。

1 カ月ごとにみる通行者数の推移



- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大前 2020.1
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大期 2021.1
- ・ 直近の時期 2022.1

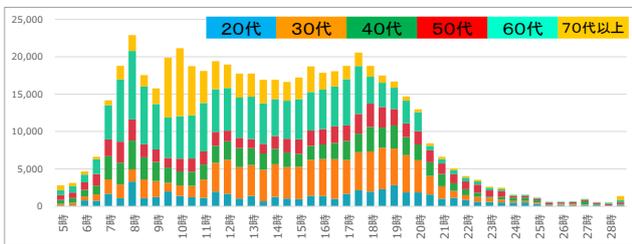
【情報発信 想定地点における各年1月の滞在者総数の変化】



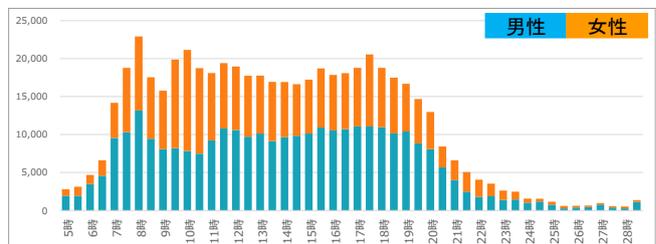
【情報発信 想定地点における年間通行者数 2021年1月1日~12月31日】

・A 地点 (1年間の通行者数:243,245人)

年代別×時間帯別

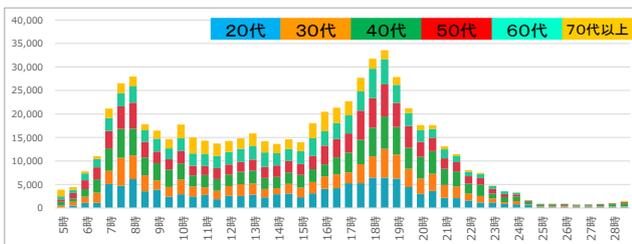


年代別×性別

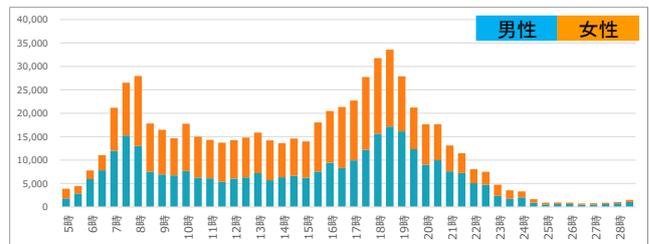


・B 地点 (1年間の通行者数:449,488人)

年代別×時間帯別

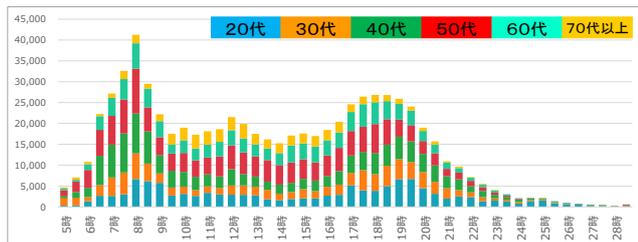


年代別×性別

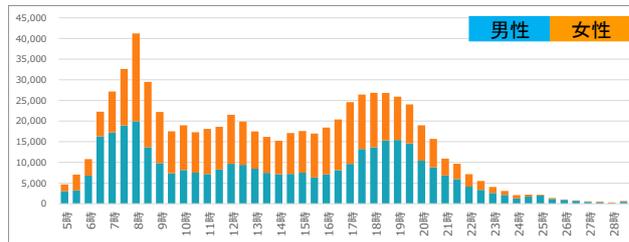


・C 地点 (1年間の通行者数:444,912 人)

年代別×時間帯別

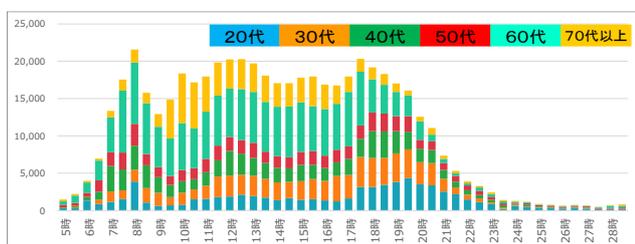


年代別×性別

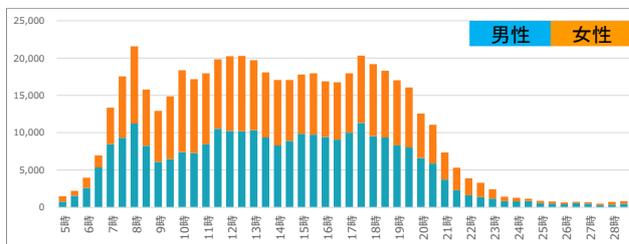


・D 地点 (1年間の通行者数:249,773 人)

年代別×時間帯別



年代別×性別



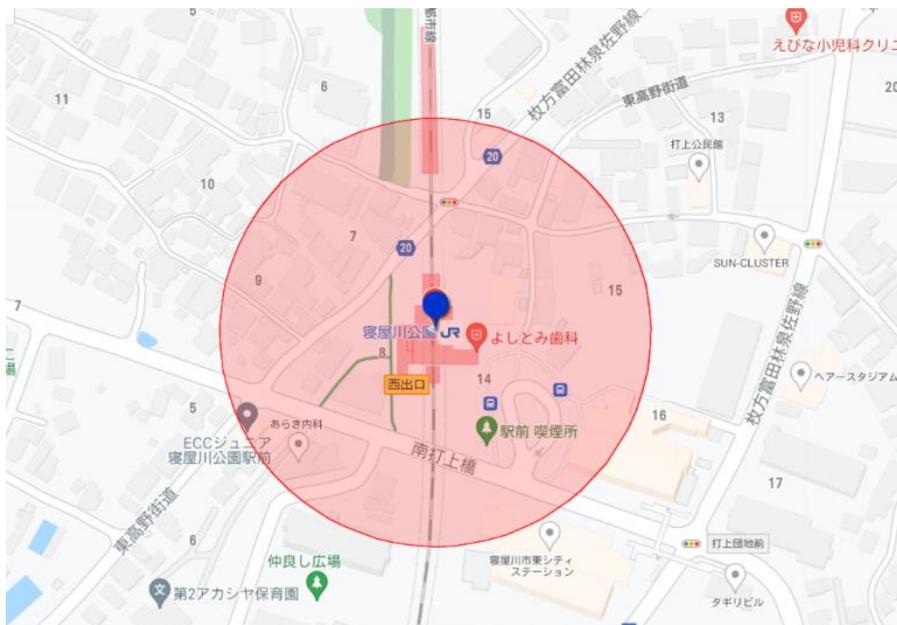
〈各地点の傾向〉

- ・ 駅周辺4地点における各年1月の通行者数の状況について、2地点(AB)では、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、2021年1月は減少となっているが、直近の時期(2022年1月)の通行者数については、B地点、D地点においては、感染症拡大前の2020年1月のレベルまで戻っていない。
- ・ 直近の時期(2022年1月)では、B地点、C地点(いずれも駅西口側)が多い。
- ・ 年間通行者数について、B地点、C地点では、通勤、通学者の利用が多いと考えられる7時から8時、17時から 19 時の時間帯が顕著に多くなっており、A地点、D地点では、日中も通行者数が比較的多い場所となっている。

- ▶ より多くの方に情報発信、周知・啓発 B地点、C地点
- ▶ 7時から8時、17時から 19 時の時間帯での情報発信、周知・啓発 A 地点、B地点、C地点
- ▶ 日中(9時から18時ごろ)での情報発信、周知・啓発 A地点、D地点



4 寝屋川公園駅



〈通行者の推移の傾向〉1か月

- 4回あった緊急事態宣言における変化として、月単位では第1回緊急事態宣言期間中に当たる4月は12,703人、5月は13,324人となっており、計測期間の中で最も低くなっている。

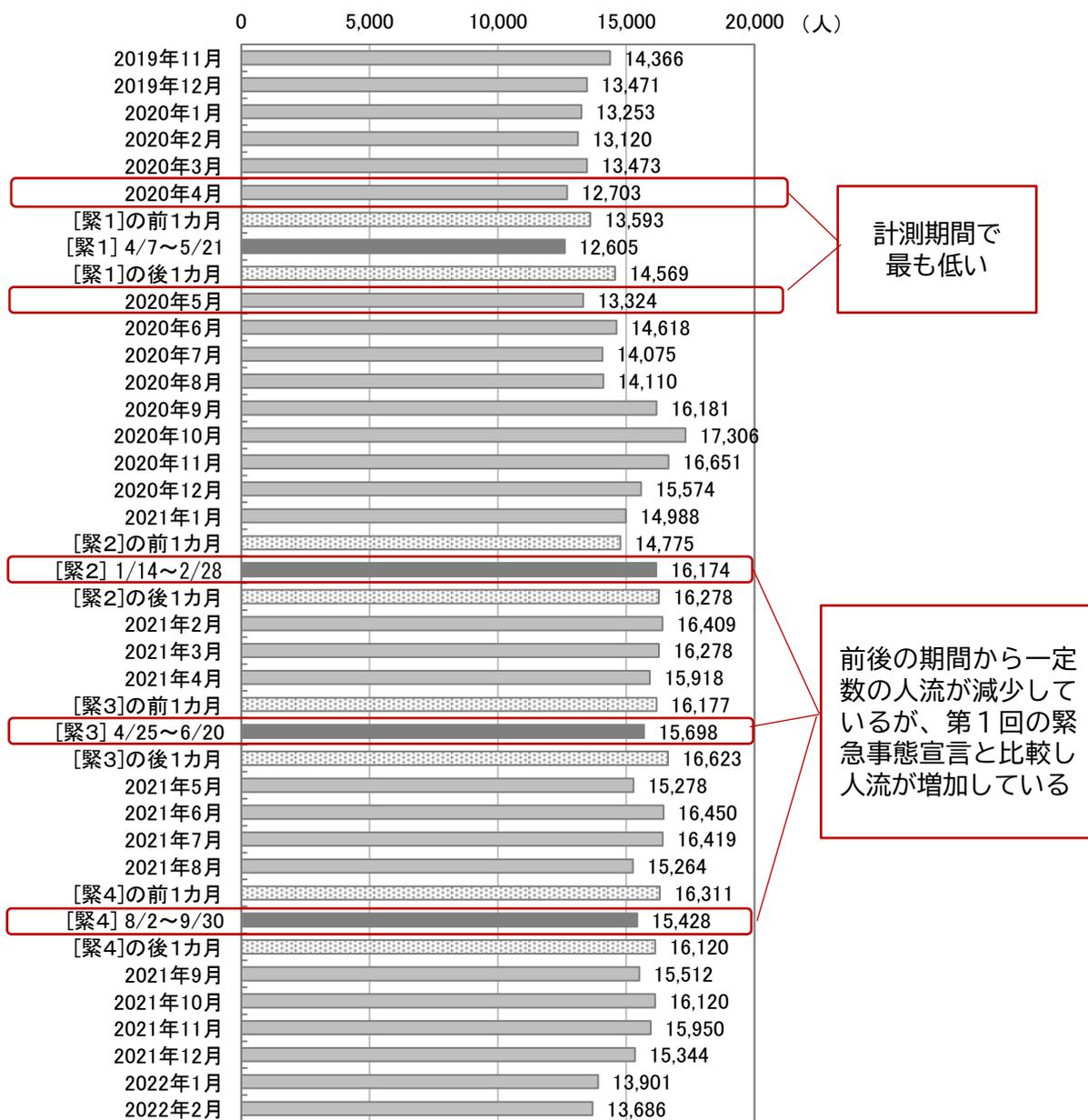
〈通行者の推移の傾向〉1週間

- 寝屋川公園駅においては、第2回目の緊急事態宣言下において、通常よりも多い、人の流れとなっている。
- 寝屋川公園駅においては、新型コロナウイルス感染症拡大初年度2020年の8月以降より人の流れが回復し、コロナ禍以前よりも多くなっている。

〈通行者・滞在者の傾向(資料より)〉

- 通行者は、金曜日が多く、40代、60代の来街者の割合が高い。
- 他の3駅と比較すると居住者の利用が割的に高い。
- 時間帯でも、40～60代の他にも時間帯によっては、30代の来街者の割合が高い。
- 時間は7～8時、17～18時の利用が多いものの、どの時間帯も平均して通行者がいる。
- 滞在者は居住者の割合が高く、男性が多い。
- 通行者、滞在者ともに年齢層が高い。

1 カ月ごとにみる通行者数の推移



- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大前 2020.1
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大期 2021.1
- ・ 直近の時期 2022.1

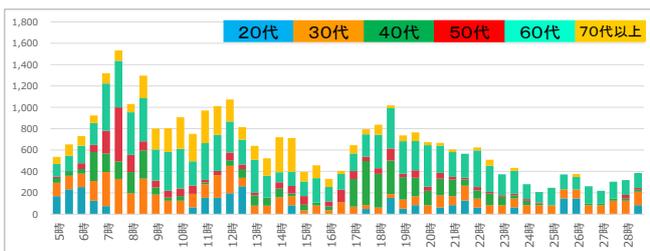
【情報発信 想定地点における各年1月の通行者数の変化】



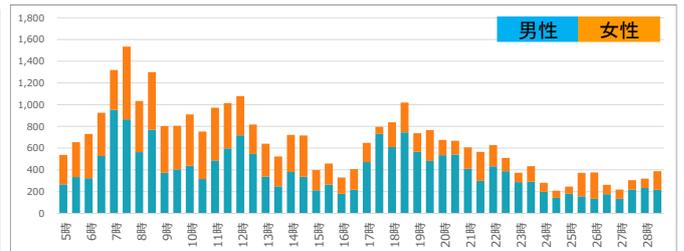
【情報発信 想定地点における年間通行者数 2021年1月1日~12月31日】

・A 地点 (1年間の通行者数:15,015人)

年代別×時間帯別

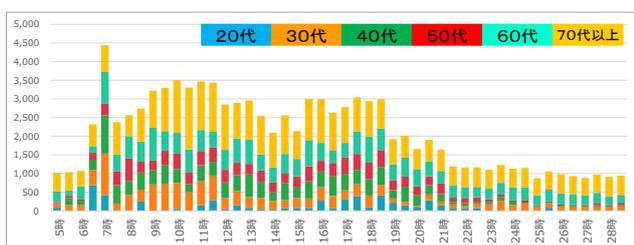


年代別×性別

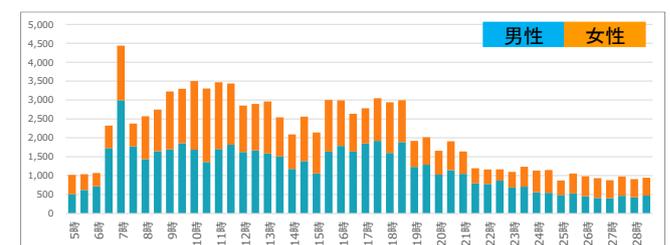


・B 地点 (1年間の通行者数:50,772人)

年代別×時間帯別

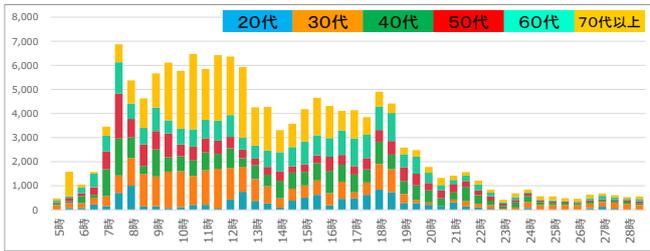


年代別×性別

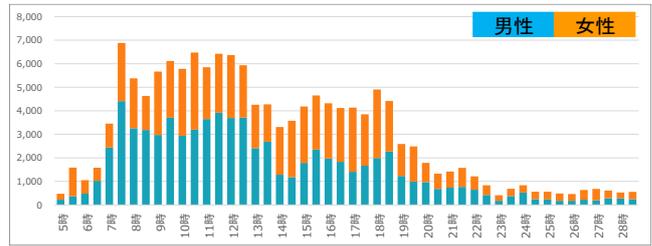


・C 地点（1年間の通行者数:80,961 人）

年代別×時間帯別

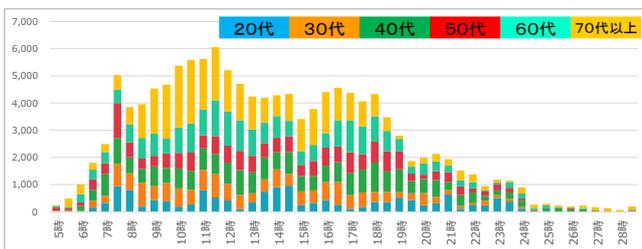


年代別×性別

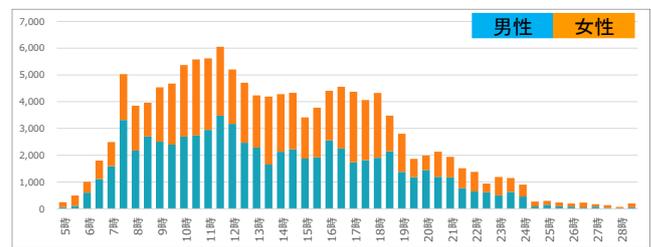


・D 地点（1年間の通行者数:94,950 人）

年代別×時間帯別



年代別×性別



〈各地点の傾向〉

- ・ 駅周辺4地点における各年1月の通行者数の状況について、全ての地点において、2021 年 1 月は増加しており、C地点、D地点では、感染症拡大前の 2020 年 1 月を超えている。
- ・ 直近の時期(2022年1月)では、D地点が最も多く、次いで、C地点が多い。
- ・ 年間通行者数について、いずれの地点においても、通勤、通学者の利用が多いと考えられる7時から8時の時間帯が多くなっているが、他の駅では2回目のピークとなっている17時から19時の時間帯については、いずれの地点においてもそれほど大きなピークとはなっておらず、比較的、午前中に通行者数が多い駅となっている。
- ・ D地点では、他の3地点と比較して、11時がピークとなっているが、日中もそれほど減少することなく、通行者数が比較的多い場所となっている。

- ▶ より多くの方に情報発信、周知・啓発 C地点、D地点
 - ▶ 7時から8時、17時から 19 時の時間帯での情報発信、周知・啓発 A地点、B地点、C地点、D地点
 - ▶ 日中(9時から18時ごろ)での情報発信、周知・啓発 C地点、D地点
- ※ 全地点、午前中が比較的多い。



5 全駅まとめ

〈緊急事態宣言下の人の流れ〉

- 第1回目の緊急事態宣言期間において、市内いずれの駅周辺での通行者数は、調査期間中で最も少ない状態となっており、宣言発令による人流抑制効果は非常に大きいと考えられる。
- 緊急事態宣言2回目以降は、宣言期間中であるにもかかわらず、駅周辺の通行者数の減少幅は小さく、宣言発令による人流抑制効果は第1回目と比較して大きいとはいえないことが考えられる。
- 緊急事態宣言の期限の延長、宣言の終わりが見えない状況等から、宣言に対する意識の希薄化、自粛疲れが現れ始めたことが考えられる。
- 緊急事態宣言による人流抑制効果については、宣言が発令されるたびに弱くなっていることに加え、何度も期限の延長を繰り返されることが効果を低下させてしまっていることが考えられる。

〈4 駅共通の傾向〉

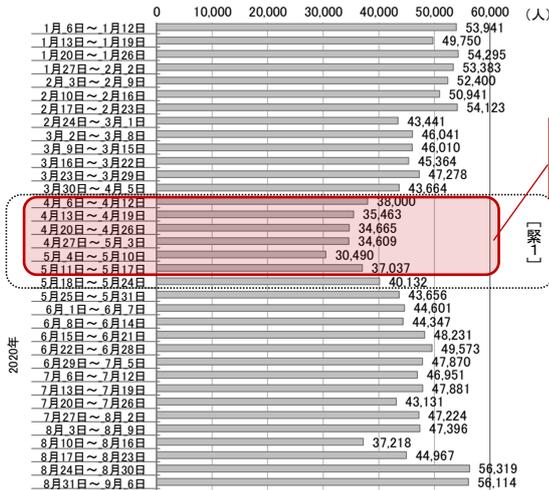
- 寝屋川市内4駅周辺における通行者数は、いずれの駅周辺でも金曜日が最も多く、次いで火曜日、又は水曜日が多い。
- 15分以上の滞在人口は、寝屋川公園駅周辺では男性が多い一方、その他の駅周辺では女性が比較的多い。
- 平日の通行者数について、いずれの駅周辺においても1回目のピークは7時から8時が多く、2回目のピークは寝屋川市駅、香里園、萱島駅周辺では17時から19時
一方、寝屋川公園駅周辺では17時から18時と、他の駅周辺と比較して1時間早くピークを終える傾向にある。
いずれの駅周辺もピーク時は20代から60代が多い。(9時から17時又は18時までは、70代以上が多い。)
- 土曜日、日曜日になると、日中の通行者は40代女性が比較的多い。

〈本市から市民への不要不急の外出自粛の呼びかけ(公用車巡回)による効果検証〉

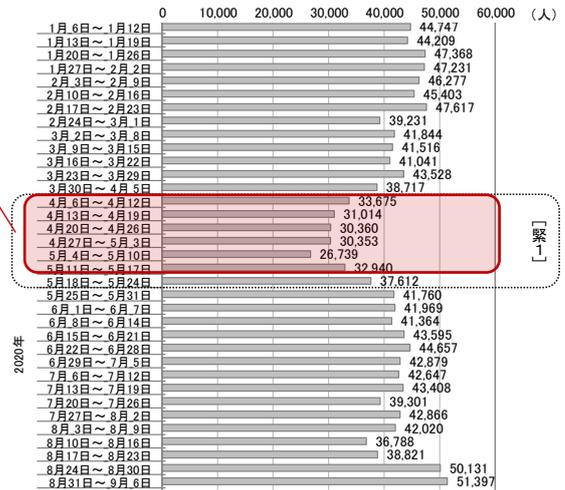
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえ、令和2年4月8日から5月18日までの期間において実施した公用車巡回による市民への不要不急の外出自粛の呼びかけについて、市内4駅周辺の人流が前後の期間と比較して10%から30%程度まで低下しており、外出自粛が促されているものと考えられる。
- 特にゴールデンウィーク期間においては、他の期間と比較して減少幅が大きく、自宅待機に御協力いただいた方が多くいたことがうかがえる。

1週間ごとにみる通行者数の推移 (2020年1月6日～2020年9月6日抜粋)

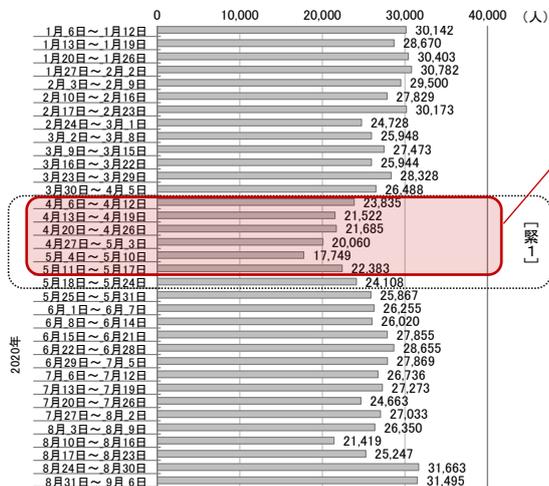
寝屋川市駅



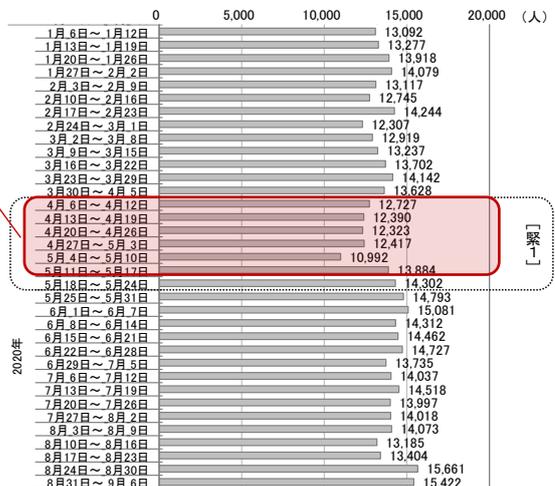
香里園駅



萱島駅



寝屋川公園駅



寝屋川市内4駅周辺人流動態レポート【本編】

(令和4年4月)

寝屋川市 経営企画部 企画二課

〒572-8555 大阪府寝屋川市本町1番1号

TEL : 072-825-2019 FAX : 072-825-0761

URL : <http://www.city.neyagawa.osaka.jp>

E-mail : kikaku02@city.neyagawa.osaka.jp